



IP 伝送 HDMI 送信器/受信器

MUX-EVH500754-TX/MUX-EVH500754-RX



取扱説明書





V2.0

安全のために必ずお読みください

本書をお読みいただき正しい方法でご使用ください。誤った使用方法による危険を表すものとして下記の表示を使用しています。








 警告	 注意
誤った取り扱いをした場合に死亡や重傷などの重大な結果を伴う可能性があることを表します。	誤った取り扱いをした場合に軽傷を負うか、物的な損害が生じる可能性があることを表します。

記号の説明

	注意を促すことを表します。
	してはいけないこと（禁止）を表します。



万一異常が発生した場合は直ちに使用を止め、AC アダプター、または LAN ケーブルを抜いて、機器を安全な場所へ移動してください。異常があるまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	斜面や不安定な場所に置かないでください。また壁面などに設置する場合は確実に固定してください。落下などにより怪我の原因となります。
	異常な発熱がある場合や、煙を発した場合、また不自然な臭いを感じた場合は、直ちに AC アダプター、または LAN ケーブルを本機から抜いて使用を中止してください。
	壊れた機器や異常のある機器を本機に接続しないでください。本機の故障の原因になるだけでなく、火災や感電の原因となる場合があります。
	水に濡れた場合や、内部に異物が入った場合は AC アダプター、または LAN ケーブルを本機から抜いてください。
	AC アダプターのケーブルや LAN ケーブルに重いものを乗せたり、折り曲げたまま力を加えたり、強く引っ張ったりしないでください。ケーブルの断線が生じ、火災や感電の原因となります。
	裏蓋を外して本機を分解する、独自の修理を行う、または改造するなどしないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
	屋外や浴室など水がかかるおそれがある場所では使用しないでください。



注意

注意事項をよくお読みください。誤った設置方法や取り扱いによって機器に故障が生じ、火災、感電の原因となる場合があります。

- | | |
|--|--|
| | 本機は屋内での使用を前提としております。屋外では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。 |
| | ご使用の際は直射日光が当たる場所を避け、暖房器具などの熱を発するもの、火気のそばには置かないでください。 |
| | 使用中に本機に布を被せて通気を妨げないでください。またテープを巻きつけるなどしないでください。通気を妨げると本体の温度が上がります故障の原因となります。 |
| | 本機は車載用に設計されたものではありません。継続的な振動を受け続けると故障の原因となる場合があります。 |
| | 本機を密閉された狭い場所には設置しないでください。また通気のある場所に設置してください。密閉された通気のない場所で使用すると本体の温度が上がります故障の原因となります。 |
| | 高温、湿度の高い場所、温度変化の大きい場所、または湯気、油煙にさらされる場所には設置しないでください。故障の原因となります。また結露したまま使用しないでください。 |
| | AC アダプターをコンセントから抜く際は AC アダプターをしっかりと持って抜いてください。ケーブル部を引っ張って抜かないでください。 |
| | AC アダプターはコンセントにしっかりと奥まで接続してください。また LAN、HDMI 等のケーブル類は真っ直ぐに確実に本機に接続してください。 |
| | AC アダプターがコンセントから抜けかけた状態で使用しないでください。コンセントから抜けかけた状態で使用すると火災、感電の原因となる場合があります。 |

目次

1 同梱品.....	5
2 製品画像.....	6
2-1 MUX-EVH500754-TX（送信器）のフロントパネル.....	6
2-2 MUX-EVH500754-TX（送信器）のリアパネル.....	6
2-3 MUX-EVH500754-RX（受信器）のフロントパネル.....	7
2-4 MUX-EVH500754-RX（受信器）のリアパネル	7
3 製品概要	8
4 接続手順.....	8
5 ブラウザーによる設定	8
5-1 はじめに.....	8
5-2 送信器へのログイン.....	9
5-3 送信器の設定.....	9
5-4 受信器へのログイン.....	11
5-5 受信器の設定.....	11
6 対応解像度	13
7 トラブルシューティング	14
8 製品仕様.....	15

1 同梱品

MUX-EVH500754-TX（送信器）

・ MUX-EVH500754-TX 本体	1 台
・ AC アダプター	1 個
・ クイックスタートガイド	1 部
・ アフターサービス規定書	1 部

MUX-EVH500754-RX（受信器）

・ MUX-EVH500754-RX 本体	1 台
・ AC アダプター	1 個
・ クイックスタートガイド	1 部
・ アフターサービス規定書	1 部

オプション（別売）

・ 3 ポート 1U ラックマウントシャーシ	（型番：MUX-OP500905）
・ 16 ポート 3U ラックマウントシャーシ	（型番：MUX-OP500920）
・ ウォールマウントキット	（型番：MUX-OP500917）
・ MuxLab ネットワークコントローラー	（型番：MUX-CM500811）

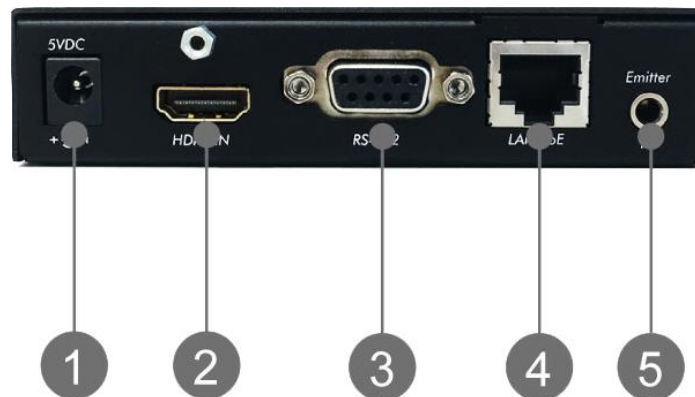
2 製品画像

2-1 MUX-EVH500754-TX（送信器）のフロントパネル



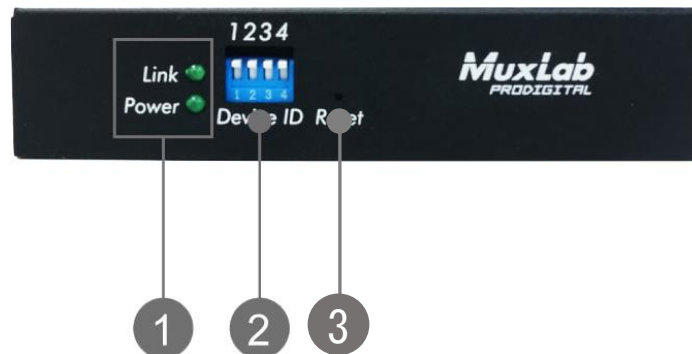
- ① Power LED : 電源が入ると点灯します。
Link LED : 正常にネットワーク通信が行われている際に点滅します。
- ② Device ID ディップスイッチ : ネットワーク内に複数の送信器、受信器を接続する場合は、ディップスイッチで送信器と受信器のチャンネルを合わせます。
- ③ Reset ボタン : 初期化に使用します。Link LED が点滅を止めるまで約 10 秒間長押しすると、全ての設定を初期化します。

2-2 MUX-EVH500754-TX（送信器）のリアパネル



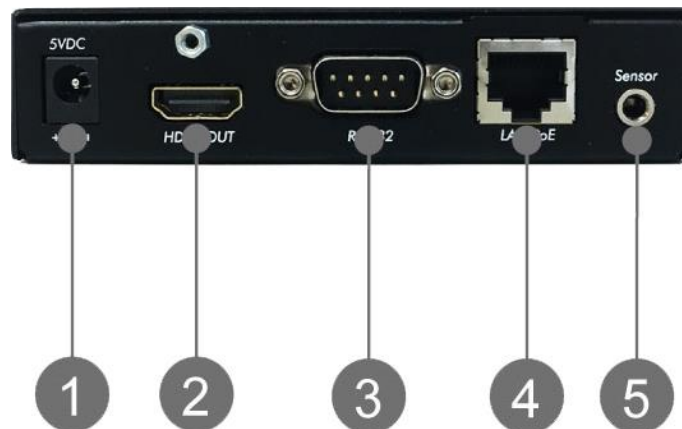
- ① DC 5V in : 付属の AC アダプターを接続します。
- ② HDMI IN : 映像ソース機器を接続して HDMI 信号を入力します。
- ③ RS232 : 使用しません。
- ④ LAN PoE : LAN ケーブルで受信器と接続します。HDMI から入力したソース機器の映像信号を受信器へ送信し、シリアル信号を送受信、IR 信号を受信します。PoE にも対応し、PoE 対応のネットワーク機器（PSE）からの給電でも動作します。Cat 5e/6 以上の LAN ケーブルの使用を推奨します。
- ⑤ IR : 使用しません。

2-3 MUX-EVH500754-RX（受信器）のフロントパネル



- ① Power LED : 電源が入ると点灯します。
Link LED : 正常にネットワーク通信が行われている際に点滅します。
- ② Device ID ディップスイッチ : ネットワーク内に複数の送信器、受信器を接続する場合は、ディップスイッチで送信器と受信器のチャンネルを合わせます。
- ③ Reset ボタン : 初期化に使用します。Link LED が点滅を止めるまで約 10 秒間長押しすると、全ての設定を初期化します。

2-4 MUX-EVH500754-RX（受信器）のリアパネル



- ① DC 5V in : 付属の AC アダプターを接続します。
- ② HDMI OUT : 送信器から伝送された映像信号を出力します。
- ③ RS232 : 使用しません。
- ④ LAN PoE : LAN ケーブルで送信器と接続します。送信器から送られた映像信号の受信、シリアル信号の送受信、IR 信号の送信を行います。PoE にも対応し、PoE 対応のネットワーク機器（PSE）からの給電でも動作します。
- ⑤ IR : 使用しません。

3 製品概要

本機は送信器の HDMI IN へ入力した映像、音声信号を Cat 5e/6 ケーブルで最大 120m（※1）延長できます。複数の送信器、受信器を使用することで、1 対多、多対 1、または多対多の接続も可能です（※2）。本機は PoE に対応した機器（PD）であり、給電機能を持った PoE 対応のネットワーク機器（PSE）からの給電でも動作します。

- ※1 送信器と受信器を直接 LAN ケーブルで接続した場合に 120m の延長が可能です。ネットワーク Hub を介すると全長 200m の延長（100m+100m）となります。
- ※2 1 対多、多対 1 の接続にはギガビット・イーサネット Hub と DHCP サーバーが必要です。多対多の接続の場合はギガビット・イーサネット Hub、DHCP サーバーに加え、IGMP の対応が必要です。

4 接続手順

1. 接続する全ての機器の電源をオフにします。
2. 始めに、ソース機器⇄送信器、表示機器⇄受信器を HDMI ケーブルで接続します。
3. 送信器と受信器を LAN ケーブル（Cat 5e/6/6A）で直接、またはネットワーク Hub を介して接続します。（PoE で給電を行う場合は PoE 対応のネットワーク Hub を使用します。電源が供給されると送信器と受信器の Power LED が点灯します。）
4. 送信器と受信器の Device ID ディップスイッチを同じ設定にします。付属の AC アダプターを使用する場合は、AC アダプターを送信器、受信器に接続し、**受信器、送信器の順**に電源コンセントに接続して電源を入れます。電源が供給されると送信器と受信器の Power LED が点灯します。
5. 表示機器、ソース機器の順に電源をオンにします。
（全ての機器の接続が完了した後に、**表示機器、ソース機器の順**に電源をオンにします。）

5 ブラウザーによる設定

本機は送信器と受信器のフロントパネルにある Device ID ディップスイッチの設定を合わせることで自動的に接続を確立し、映像や音声などの伝送が可能になりますが、ネットワーク接続したコンピュータのブラウザでアクセスすることにより、マニュアルで各種の設定を行うことができます。

5-1 はじめに

送信器、受信器ともに初期設定では IP アドレスの設定は自動取得（DHCP が有効）となっています。**DHCP がネットワーク内に接続されていない場合、送信器は 192.168.168.55、受信器は 192.168.168.56 の固定 IP アドレスを使用します。**コンピュータのネットワーク設定は送信器、受信器に合わせ下記の通り

設定します。(送信器、受信器と同一セグメントの IP アドレスを設定します。)

IP アドレス	192.168.168.xxx (0、1、255、55、56 以外)
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.168.1

※複数の送信器、受信器を接続して 1 対多、多対 1、多対多で使用する場合は、ネットワーク内に DHCP が必要になります。DHCP を接続した環境で使用する場合は、コンピューターの IP アドレスは DHCP に合わせて設定、または自動取得に設定します。

5-2 送信器へのログイン

送信器と同一セグメントの IP アドレスを設定したコンピューターを、送信器が接続されたネットワークに LAN ケーブルで接続します。コンピューターのブラウザを起動し、URL 入力欄に送信器の IP アドレス (192.168.168.55) を入力して Enter キーを押します。

DHCP を接続している場合は、送信器の IP アドレスを確認する必要があります。ネットワークの管理者に確認をするか、ネットワーク内に接続された機器の IP アドレスを検出するソフトウェアを利用します。IP アドレスを検出するソフトウェアは別途ご用意ください。

送信器へのアクセスに成功すると、ユーザー名、パスワードの入力を求められます。ユーザー名 : admin、パスワード : admin と入力してログインします。

5-3 送信器の設定

送信器の IP アドレス、パスワードの変更、送信器の再起動の実行などが可能です。

◎System

System Settings : IP アドレスをマニュアルで設定することができます。[Apply] をクリックすると変更を実行します。Mac アドレスも変更が可能ですが、Mac アドレスは変更しないでください。

Uart Settings : シリアル通信のボーレートを変更することができます。[OK] をクリックして変更を実行します。

◎ Advanced Tools

Firmware Upgrade : ファームウェアの更新を行う場合に使用します。[ファイルを選択] をクリックして更新ファイルを選択し、[Upgrade] をクリックして更新を実行します。

更新ファイルは下記の弊社ホームページよりダウンロードしてください。更新ファイルは随時更新されますが、出荷時のファームウェアと同じバージョンのファイルを公開している場合もあります。

https://jmgs.jp/support/downloads/driver_manual/muxlab_driver.html

Administration : ログインの際に使用するユーザー名、パスワードを変更することができます。

-Password : 現在のパスワードを入力します。初期値 : admin

-New account : 新しいユーザー名を入力します。

-New password : 新しいパスワードを入力します。

-Confirm password : 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します。

[Apply] をクリックするとユーザー名、パスワードの変更を実行します。

[Cancel] をクリックすると入力した文字を全て削除します。

EDID Setting : [ファイルを選択] をクリックしてファイルを選択し、[Resume] をクリックして保存します。

System Restart : 送信器を再起動させます。[Apply] をクリックして実行します。

5-4 受信器へのログイン

受信器と同一セグメントの IP アドレスを設定したコンピューターを、受信器が接続されたネットワークに LAN ケーブルで接続します。コンピューターのブラウザを起動し、URL 入力欄に受信器の IP アドレス（192.168.168.55）を入力して Enter キーを押します。

DHCP を接続している場合は、受信器の IP アドレスを確認する必要があります。ネットワークの管理者に確認をするか、ネットワーク内に接続された機器の IP アドレスを検出するソフトウェアを利用します。IP アドレスを検出するソフトウェアは別途ご用意ください。

受信器へのアクセスに成功すると、ユーザー名、パスワードの入力を求められます。ユーザー名 : admin、パスワード : admin と入力してログインします。

5-5 受信器の設定

受信器の IP アドレス、パスワードの変更、受信器の再起動の実行などが可能です。

◎ System

System Settings : IP アドレスをマニュアルで設定することができます。Mac アドレスの値も変更できますが、Mac アドレスは変更しないでください。[Apply] をクリックすると変更を実行します。

Uart Settings : シリアル通信のボーレートを変更することができます。[OK] をクリックして変更を実行します。

◎ Advanced Tools

Firmware Upgrade : ファームウェアの更新を行う場合に使用します。[ファイルを選択] をクリックして更新ファイルを選択し、[Upgrade] をクリックして更新を実行します。

更新ファイルは下記の弊社ホームページよりダウンロードしてください。更新ファイルは随時更新されますが、出荷時のファームウェアと同じバージョンのファイルを公開している場合もあります。

https://jimgs.jp/support/downloads/driver_manual/muxlab_driver.html

Administration : ログインの際に使用するユーザー名、パスワードを変更することができます。

-Password : 現在のパスワードを入力します。初期値 : admin

-New account : 新しいユーザー名を入力します。

-New password : 新しいパスワードを入力します。

-Confirm password : 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します。

[Apply] をクリックするとユーザー名、パスワードの変更を実行します。

[Cancel] をクリックすると入力した文字を全て削除します。

Factory Default : 工場出荷時の設定に戻します。[Apply] をクリックして実行します。

System Restart : 受信器を再起動させます。[Apply] をクリックして実行します。

6 対応解像度

本製品は原則として入力した映像の解像度を維持して映像を伝送、出力しますが、入力した映像の解像度によっては、近い解像度に変換される場合があります。また本製品はインターレースの映像信号の入力に対応しますが、出力はプログレッシブになります。

下表は入力した解像度ごとに出力時の解像度を示したものです。表は一般的な EDID を持つディスプレイを接続した場合の例です。使用する表示機器（ディスプレイ、プロジェクター等）の仕様によっては、出力される解像度が異なる場合があります。

入力解像度	出力解像度
640 x 480 60Hz	640 x 480p 60Hz
800 x 600 60Hz	800 x 600p 60Hz
1024 x 768 60Hz	1024 x 768p 60Hz
1280 x 768 60Hz	1440 x 900p 59.894Hz
1360 x 768 60Hz	1440 x 900p 59.894Hz
1280 x 960 60Hz	1280 x 960p 60Hz
1280 x 1024 60Hz	1280 x 1024p 60Hz
1400 x 1050 60Hz	1400 x 1050p 60Hz
1600 x 1200 60Hz	非対応
1920 x 1200 60Hz	非対応
480i 59.94Hz	720 x 480p 59.94Hz
480p 59.94Hz	720 x 480p 59.94Hz
720p 60Hz	1280 x 720p 60Hz
720p 59.94Hz	1280 x 720p 60Hz
1080i 60Hz	1920 x 1080p 60Hz
1080i 59.94Hz	1920 x 1080p 60Hz
1080p 30Hz	1920 x 1080p 30Hz
1080p 29.97Hz	1920 x 1080p 30Hz
1080p 24Hz	1920 x 1080p 24Hz
1080p 23.976Hz	1920 x 1080p 24Hz
1080p 60Hz	1920 x 1080p 60Hz
1080p 59.94Hz	1920 x 1080p 60Hz

7 トラブルシューティング

現象	送信器 LED		受信器 LED		考えられる原因	対応策
	Power	Link	Power	Link		
表示しない	OFF	OFF	OFF	OFF	電源供給されていない	AC アダプターの接続を確認する。PoE 給電の場合は、PoE ネットワーク Hub、LAN ケーブルの接続を確認する。
表示しない	ON	OFF	ON	ON	通信エラー	送信器の電源を入れ直す。
表示しない	ON	ON	ON	OFF	通信エラー	受信器の電源を入れ直す。
表示しない	ON	ON	ON	ON	LAN ケーブルの接続	送信器の LAN ケーブルの接続を確認する。
表示しない	ON	点滅	ON	ON	LAN ケーブルの接続	受信器の LAN ケーブルの接続を確認する。
表示しない	ON	点滅	ON	点滅	HDMI ケーブルの接続	HDMI ケーブルの接続を確認する。他のケーブルを試す。
映像が途切れる	ON	点滅	ON	点滅	ネットワーク Hub	ネットワーク Hub の接続を確認する。1 対多、多対多の接続の場合はネットワーク Hub が仕様を満たしているか確認する。
音声が途切れる	ON	点滅	ON	点滅	同期の不備	LAN ケーブルの長さが仕様の範囲内か確認する。他の HDMI ケーブルを試す。
周辺の機器に電源を入れると映像がちらつく	ON	点滅	ON	点滅	干渉	STP ケーブルを使用する。

8 製品仕様

型番	MUX-EVH500754-TX	MUX-EVH500754-RX
種類	送信器	受信器
ビデオ帯域	225MHz	
HDMI/HDCP	HDMI 1.3a/HDCP 1.4	
圧縮形式	Motion JPEG	
入力端子	HDMI x 1 ※2 DC 5V in x 1	IR x 1 ※1 DC 5V in x 1
出力端子	IR x 1 ※1	HDMI x 1 ※2
入出力端子	LAN PoE (RJ45) x 1 RS232 x 1 ※1	LAN PoE (RJ45) x 1 RS232 x 1 ※1
最大延長距離	120m (送信器と受信器を直接 LAN ケーブルで接続した場合) ネットワーク Hub を介した場合は全長 200m (100m+100m)	
送受信器間の信号遅延	最大 33ms	
最大接続台数	送信器 12 台、受信器 無制限	
ネットワーク帯域	80Mbps	
ネットワーク環境	1 対 1 : 100BaseT 1 対多、多対 1、多対多 : 1000BaseT	
対応 LAN ケーブル	CAT5e/CAT6/CAT6A	
PoE	IEEE 802.3af	
IR 帯域	38~56KHz	
動作環境温度/保管環境温度	0~40℃/-20~85℃	
動作環境湿度/保管環境湿度	95%まで (結露なきこと)	
電源	AC アダプター (DC5V/2A) 、 または PoE に対応したネットワーク機器 (PD) からの給電で動作	
最大消費電力	2.9W	1.8W
認証	CE、FCC、RoHS	
外形寸法	幅 111mm × 高さ 25mm × 奥行き 75mm (突起物含まず)	
重量	273g	

2024 年 8 月現在

※1 IR、RS-232C 通信はサポートしません。

※2 ソース機器と送信器、受信器と表示機器を接続する HDMI ケーブルは最長 2m となります。2m を超える長さの HDMI ケーブルを使用した場合、正常に表示できない場合があります。